

I. 令和2年度に発生し大きな被害をもたらした災害の際に通信の復旧や通信手段の確保等に迅速に努めることで、情報通信の観点から災害対応に貢献したと認められる者

被表彰者	功績の概要
西日本電信電話株式会社 九州事業本部	令和2年7月豪雨において、 <u>通信設備等の早期復旧</u> にあたるとともに、情報通信の確保に多大の貢献をしたほか、被災自治体へ <u>多数の通信機器を無償提供</u> し、非常時の通信の確保に多大の貢献をした。
九州電力株式会社 九州電力送配電株式会社	令和2年7月豪雨において、九州全域に甚大な被害が生じ、広域において電力に障害が発生したが、発災後、直ちに復旧に当たり、 <u>基地局や放送設備への電力の早期復旧</u> と非常時の円滑な通信確保に多大な貢献を行った。
株式会社NTTドコモ九州支社 KDDI株式会社九州総支社 ソフトバンク株式会社 九州ネットワーク技術部	令和2年7月豪雨において、被災地における通信サービスを確保するため、車載型及び可搬型基地局を臨時に配備するとともに、被災自治体に対し、 <u>携帯電話等の通信機器や充電設備の無償貸与</u> を行った。併せて、被災した携帯電話基地局や通信ケーブルの早期復旧に向け尽力し、もって、非常時における通信確保に多大な貢献をした。

II. 非常通信ルートの確保・維持や非常通信訓練における活動、その他これに準じると認められる顕著な活動実績を有する者

被表彰者	功績の概要
一般社団法人 全国漁業無線協会	協会会員である漁業海岸局の参加を得て、大規模災害の発生を想定した <u>全国規模の非常通信訓練</u> を平成29年度から毎年実施し、情報伝達手段の広域性や公衆回線に依らない <u>独自回線の有効性の確認や改善等を促進</u> してきている。令和2年度は、全国共通波を用いた受信確認訓練に加え、新型コロナウイルスの地域的な影響の回避も踏まえ、全国5地区内での通信機能の維持を図るため、地区別の共通波を用いた訓練を併せて行い、 <u>全国並びに地区単位での非常時の通信協力体制作りを支援</u> した。